

川口工業高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	単位制による定時制の課程	学科	工業技術科	R4.5.1 生徒数	(男) 49 (女) 7	計	56		
アクセス	JR京浜東北線 西川口駅東口徒歩17分 蕨駅東口徒歩20分								
<目指す学校像>									
地域産業の発展に寄与できる、心豊かな人間の育成を図る。									
<教育課程等> ※1									
<p>本校は、夜間開講の「単位制による定時制の課程」の工業高校です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の授業を履修し、単位を修得します。その単位の合計が74単位以上になった場合に卒業が認定されます。 ・本校「工業技術科」は、「機械」と「電気」について実習を交えながら幅広く学ぶ学科です。 									
<本校が求める生徒> ※2									
「働きながら高校を卒業したい生徒」、「希望する進路の実現を目指す生徒」を応援しています。									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員を中心に生徒全員で運営する「体育祭」を行います。 ・10月下旬に遠足を実施します。 ・就職する生徒が多いことから、最先端の研究施設や会社・工場見学等を計画しています。 									
<部活動>									
<p>夜間定時制高校ですので、放課後の約1時間程度活動をしています。現在、活動している部活動（同好会を含む）は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動部 : 軟式野球、バスケットボール、硬式テニス、サッカー、バドミントン ○ 文化部 : パソコン、ものづくり 									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、11月上旬に授業公開期間を設けています。授業や部活動の様子等をご家族の方や中学生の方にご覧いただいています。 ・夏季休業中には、ものづくり部と生徒会を中心に「小学生対象のものづくり教室」を行っています。 									
進路	R4.3 卒業生	四大	2人	短大	0人	専門	2人	就職	4人
	傾向	以前は、川口市内を中心に埼玉県内に就職を希望する生徒が多数を占めていましたが、徐々に進学を希望する生徒が増えてきています。							

【学校教育法施行規則第103条の2】高等学校における三つの方針
裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）
※1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）
※2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本校の特色

- 本校の授業 …… 普通科目での学び直しと工業科目での専門知識・技術の獲得を目指します。
- 行事や部活動 …… 生徒会を中心とした行事や部活動への参加を通して生徒の成功体験を育みます。
- 学校の周辺情報 …… 地域には多くの本校卒業生が経営、あるいは働く事業所がたくさんあります。

部活動

午後9時10分、4時間目の授業終了後から部活動が始まります。

- ・軟式野球
- ・バスケットボール
- ・硬式テニス
- ・サッカー
- ・バドミントン
- ・パソコン
- ・ものづくり



「やっぱり高校を卒業したい」
「やいなおしたい」を応援します

目標は

「自立した社会生活」
地域で働き
地域で暮らし
地域に貢献する

4年次生

- ・社会人としての知識・マナー獲得
- ・進路希望の実現
- ・下級生への成功モデル提示

3年次生

- ・工業系専門知識と技術の獲得
- ・中心学年としてリーダーシップの発揮
- ・進路希望の確立

工業系専門科目の学習

1年次

- 工業技術基礎(4)
- 情報技術基礎(2)

3年次

- 生産システム技術(2)
- 実習(3)
- 製図(2)
- 機械設計(2)

2年次

- 情報技術基礎(2)
- 生産システム技術(2)
- 機械工作(2)
- 実習(3)
- 製図(2)

4年次

- 課題研究(3)
- A・B・Cそれぞれ1科目選択
- A 製図(2) or 電子技術(2)
- B 機械設計(2) or 電気機器(2)
- C 自動車工学(2) or 電力技術(2)



2年次生

- ・基礎学力の定着
- ・語彙の獲得と活用
- ・学校生活での成功体験獲得

1年次生

- ・学び直しによる基礎学力の獲得
- ・語彙の獲得
- ・学校での居場所づくり



生徒会主催
体育祭



地域清掃
(学校周辺のゴミ拾い)



授業風景

地域の諸機関と連携し、生徒・家庭の支援活動を積極的に行います